



第212号
発行
奥多摩町教育委員会
平成30年6月25日現在
児童数 145名
生徒数 77名
教職員数 48名

**奥多摩町教育委員会の
教育目標と方針について**

奥多摩町教育委員会では、憲法、教育基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、その他の教育関係諸法令並びに東京都教育委員会の方針等に基づき、町の現状と課題を踏まえて、教育目標と方針を定めています。

本年度、最初の発行にあたり、皆様に改めてお知らせするとともに、子どもたちにとって将来を見据えたより良い教育環境の実現のために教育行政を推進してまいります。

(1) 教育目標

「住みたい 住み続けたい みんなが支える癒しのまち 奥多摩」をまちづくりのキャッチフレーズとする町の第5期長期総合計画を指針とし、次代の町を担っていく人材の育成を最重点課題とし、知・徳・体の調和のとれた人間を育てるため、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育成する教育を推進し、子ども

もたちの「生きる力」を育む。

そのために、学校、家庭、地域が連携し、だれもが生涯を通じて、学び、支え合うことのできる地域社会の実現と、まちづくりの基本方針の1つである「町の中と外から関心をもたれる教育のまちづくり」を推進する。

(2) 基本方針

奥多摩町教育委員会は「教育目標」を達成するために、以下の基本方針及び施策の方向に基づき、教育施策を推進する。(各方針の説明については、抜粋しています。)

○基本方針1 「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成

子どもたちが、自尊感情をもち、全ての命を大切にし、人を思いやり、社会の決まりを身に付けて健やかに成長できるように、郷土を愛し、自立した個人を育てる教育を行う。

(1) 自己を大切に育む心、自尊感情・自己肯定感の向上

(2) いじめや不登校の未然防止・早期対応、社会生活ルールの

習得
(3) 自立心、公共心、社会貢献の精神、郷土を愛する心の育成

○基本方針2 「確かな学力の定着」と「個性や創造力の伸長」の推進

確かな学力の定着と、個性と創造力を伸ばす教育を実践することにより、グローバル化社会、情報化社会に対応することができ子どもを育成する教育を推進する。

(1) 生きて働く知識・技能の習得

(2) 課題解決力、思考力・判断力・表現力の向上

(3) 情報活用能力、ICT活用能力の育成

(4) グローバル社会を生き抜く力の育成

(5) 個性や創造力の伸長と自己実現

(6) 学校に向かう気力・体力の向上、運動習慣の定着化

○基本方針3 「総合的な教育力」と「生涯学習」の充実

家庭・学校・地域の教育力を高め、その連携の推進を支援するとともに、町民が生涯を通じて、自ら学び、文化・スポーツに親しみ、社会参加の機会を充実を図る。

(1) 学校の教育活動への地域人材の活用

(2) 誰でも参加できるスポーツの振興

(3) 文化にふれ、交流できる機会の充実

○基本方針4 「町民の教育参加」と「学校経営の改善」の推進

地域の特性を踏まえた広域的な視点に立つ教育行政を進めるとともに、町民に信頼される魅力ある学校づくり、開かれた学校づくりを目指した学校経営を支援する。

(1) 町民の教育参加の促進

(2) 地域の特性を踏まえた教育行政の推進

(3) 町民に信頼される魅力ある学校づくり、教員育成への支援

(4) 安全に生活できる環境づくり

(5) 食を通じた正しい生活習慣の習得

(6) 子どもたちの遊び場、青少年・地域住民の諸活動の場の確保

○基本方針5 「伝統文化の保存」と「郷土愛育成」の推進

郷土を知り、郷土を愛する心を育成し、町の発展に寄与しえる町民を育てる。

(1) 町民としての自覚と誇りの養成、多様な文化の尊重

(2) 文化財にふれ親しむ機会の充実

(3) 伝統芸能活動の後継者育成を行えるよう教育環境の整備

平成30年度 教職員の人事異動がありました

学校名	転出者			転入者等		
	担当	氏名	新任校等	担当	氏名	前任校等
古里小	校長	花輪 潤一	奥多摩町・奥多摩中学校	校長	石上 和伸	奥多摩町・氷川小学校
	理科	竹西 宗晴	あきる野市・草花小学校(副校長昇任)	特支	中村 学	墨田区・第四吾嬬小学校
	全科	稲葉 義愛	奥多摩町・氷川小学校	全科	小林 亮介	板橋区・金沢小学校
	算数	小澤 和規	小平市・小平第二小学校	—	—	—
氷川小	校長	石上 和伸	奥多摩町・古里小学校	校長	松下 静徳	青梅市・成木小学校
	特支	石田 基実	青梅市・吹上小学校	全科	稲葉 義愛	パラグアイアスンシオン日本人学校
	全科	篠 純子	青梅市・霞台小学校	全科	光武和香子	大田区・道塚小学校
	音楽	雨滝 佳恵	再任用退職	音楽	小関 貴大	新規採用
奥多摩中	校長	中道 司	檜原村・檜原中学校非常勤	校長	花輪 潤一	奥多摩町・古里小学校
	国語	永山 睦美	立川市・立川第八中学校非常勤	—	—	—
	固定学級	山崎 智子	羽村市・羽村第一中学校非常勤	—	—	—

◎氷川小の蘭草志桜里養護教諭の産・育休代替で、村田直美養護教諭が着任されました。

◎教育相談室の井上英二先生及び山縣忠仁先生は、3月をもって退職されました。

今年度古里小学校の校長を拝命いたしました。同じ奥多摩町内の氷川小学校からの異動です。氷川小学校在任時は、保護者の皆様、地域の皆様に、大変お世話になりました。本当にありがとうございます。古里小学校学区の保護者の皆様や地域の皆様にはお世話になります。これまで学校が皆様と築いてきた古里小学校の教育の良さをしっかりと引き継ぎつつ、子どもたちを一層伸ばすために力を尽くします。あらためましてどうぞよろしくお願いいたします。

この町の豊かな自然と温かな人の絆に魅せられた一人として、再び町の子どもたちのために努めることのできる機会をいただいたことを心より感謝いたします。

町内の小学校は、様々な教育活動を共に行っています。それぞれの良さや伝統を生かしながら、一人ひとりの子どもの成長に資する町の教育の充実を進めていきたいと思っております。



古里小学校
校長
石上和伸

よろしく願います

この4月より、氷川小学校長として赴任いたしました松下静徳です。教員として初めて採用された学校が、平成とし16年3月に閉校になった小河内小学校でした。右も左もわからない大学卒業したてのこの私に、保護者・地域の皆様が温かく接してくださったお陰で、教員として順調なスタートを切ることができました。

小河内小学校での子供たちとの思い出は、イワナつかみ、ワカサギ釣り、川遊び、山登り、クラスメイト全員が入る大きなかまくら作り、楽しい誕生会、教員住宅でのかくれんぼ等、数々あります。

私にとって、奥多摩は故郷であり、校長として戻ってくることでできたことをありがたく思います。奥多摩の人々の温かさを感じ、豊かな自然を活かしながら、氷川小学校の子供たちの成長のため尽力して参ります。どうぞよろしく願います。



氷川小学校
校長
松下静徳

ただいま帰りました

着任にあたり



奥多摩中学校
校長
花輪潤一

自分の勤務した小学校卒業生の多くが通う中学校に勤務するという稀な機会を与えていただいて2か月、生徒たちを見ていて頼もしくなったなど思うと同時に、小学生時代の姿が重なり不思議な気持ちです。

奥多摩中学校は開校4年目を迎えました。開校以来本校の教育活動の方向を示す「全員支援教育」をさらに推し進め、一人ひとりの生徒が登校するのが楽しみにできるような魅力ある学習の展開を図るとともに、どの生徒も安心安全に過ごせるような教育環境を職員一同整えていきます。

そして「郷土を大切にし、21世紀をたくましく生きる生徒の育成」を進めます。生徒たち各々が自分のよさを知り、互いのよさを認め合い、学習意欲と健康、そして人に貢献する喜びと、強い心やチャレンジ精神が高まることを目指します。

その実現には家庭と地域、学校との協働が重要と思っております。皆様方のご理解とお力添えを賜りますようお願いいたします。

新しい出合い

古里小学校 中村 学

今年度、墨田区立第四吾婦小学校から古里小学校へ異動して参りました。中村学（なかむらさとる）と申します。

古里小学校に来て2か月経ちましたが、子どもたちが自主性をもつて学校行事の運営や縦割り班活動などに取り組んでいる姿を見て、とても感動しました。また、このような子どもたちと一緒に学習したり、活動したりできることがとても楽しみです。

今後は、子どもたちと同じように、自分から学校のことでなく、地域や奥多摩の行事などにも積極的に関わっていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。



奥多摩に赴任して

古里小学校 小林 亮介

今年度より奥多摩町古里小学校へ赴任して参りました小林亮介（こばやしりょうすけ）と申します。以前は板橋区に勤務していましたが、全校児童700人規模のところから異動してきたので、仕事をすめる中でたくさん不安がありました。しかし、校長先生をはじめ、同僚の先生方に温かい言葉を掛けていただき、不自由のないよう配慮をいただいたことで不安も杞憂に終わりました。また、保護者や地域の皆さんにも温かく接してもらったことで、新天地で生活、仕事をしていく上での大きな心の支えになりました。この場を借りて感謝申し上げます。そして子どもたち。どの子も本当に素直で、目を輝かせながら話しかけてくれます。裏表がなく、大きな優しさを感じる子どもたちをみていると奥多摩という環境の素晴らしさを感じずにはいられません。目の前の子どもの成長の支えに少しでもなれるよう努めていきますので、今後どうぞよろしくお願ひします。

氷川小学校に着任して

氷川小学校 稲葉 義愛

4月より氷川小学校に着任しました稲葉義愛（いなばよしちか）と申します。3年前まで、町内古里小学校で勤務させていただいておりました。ご縁がありまして、再び奥多摩町で勤務させていただけることを心よりうれしく思います。

古里小学校在任時には保護者の皆様、地域の皆様の、子どもたち、学校への愛情あふれるご支援に本当に感激する日々を過ごしました。その時のご恩に報いるためにも、微力ながら全力で子どもたちの成長のために尽くして参ります。

氷川小学校に着任して何よりうれいのはみんなが仲良く、元気にあいさつができることです。素晴らしい環境の中、早く皆さんと仲良くなって外でたくさん遊びたいと思います。古里小学校や奥多摩中学校のみなさんともぜひ仲良くなれたらと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。



奥多摩町にきて

氷川小学校 光武和香子

氷川小学校に着任して、早くも2か月が経ちました。毎朝の通勤電車から見える美しい景色に心が潤い、「今日も頑張るぞ。」という気持ちにさせてくれます。

私にとって初めての異動でたくさん不安がありました。氷川小学校において素直で心豊かな子どもたちと出会うことができ、最初に抱いていた不安も吹き飛びました。今は楽しみのほうが大きいです。また、地域、保護者の方々や教職員の皆さんも大変温かく接してくださり、感謝しています。

奥多摩町だからこそできる特色ある教育活動には、私自身とても興味深く今から楽しみにしています。たくさんさんの感動体験を子どもとともに味わい、学んでいきたいと思っています。この環境で育つ子どもたちはとても幸せだと日々感じます。ここで一緒に働ける喜びを大切にしながら、子どもたちのために尽力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願います。

豊かな自然に魅せられて

氷川小学校 小関 貴大

この度、岐阜県の中学校から異動してきました小関貴大と申します。岐阜県も多くの自然に恵まれた素晴らしい環境でしたが、この「奥多摩」

にも同じように、豊かな自然や受け継がれてきた伝統が多くあり、これからの教員生活が楽しみでなりません。

2か月が過ぎ、授業で見せる子どもたちの「素直な歌声」や「心の美しさ」が溢れていることに喜びを感じています。音楽のもつ楽しさや可能性を、子どもたちと共に感じていきたいと思っています。氷川獅子や奥多摩地域の音楽会など、多様な音楽に触れる機会があるので、一つ一つの行事を大切にしながら指導していきたいと思っています。

地域の皆様には、これからたくさんお世話になる機会があると思います。私も「奥多摩」について勉強していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。

毎日が大発見

氷川小学校 村田 直美

初めまして、蘭草志桜里先生の産休・育休代替で参りました村田直美です。私にとって奥多摩とは、近いようで遠いところです。それは、生まれ育った場所が、青梅市の二俣尾だからです。家の周りは緑に囲まれ、幼少期は、沢でコケだらけになりながら、おたまじゃくしの卵をたくさんつかまえたり、梅の木に登って遊んだりしていました。また、家の近くの杉の木の実を木の枝でたたき、花粉が落ちてくるのを無邪気に楽し

んでいました。今では花粉症でとても苦しんでいます。奥多摩に来るのは、近くに住んでいるのですが、ほぼ初心者です。4月に、奥多摩町の広さを知り、驚きました。発見だらけの日々を楽しく学ばせていただいています。

氷川小学校では、養護教諭として、子どもたちが、自分の体に興味を持ち、温かな気持ちで一日が送れ、安心・安全に学校生活を過ごせるようにサポートしたいと思っています。どうぞよろしく願います。

教育委員会の動き

- ◎ 11月定例会（11月20日）
・ 議案第22号―専決処分承認を求めることについて（平成29年度児童の教育課程について）（届）
- ◎ 12月定例会（12月13日）
・ 教育長報告、教育課長報告他
- ◎ 1月定例会（1月24日）
・ 議案第1号―専決処分の承認を求めることについて（平成29年度児童の教育課程について）（届）
- ◎ 2月臨時会（2月9日）
・ 議案第2号―奥多摩町立立学校長の任命について他1議案
- ◎ 2月定例会（2月26日）
・ 議案第4号―奥多摩町外国語指導助手任用規則について他4議案
- ◎ 3月定例会（3月22日）
・ 議案第9号―平成30年度教育課程

- の承認について他3議案
- ◎ 4月定例会（4月27日）
・ 議案第13号―専決処分の承認を求めることについて（指定学校変更申立の承認について） 他2議案

第1回奥多摩スポーツフェスティバル盛大に開催される

町民体育祭に代わる事業として、6月3日に古里小学校校庭、体育館、文化会館等の会場で奥多摩スポーツフェスティバルを開催し、スポーツ、昔遊びの体験、脳年齢測定、健康相談、文化芸術の展示や郷土芸能が披露され、大勢の皆さんに参加をいただき盛大に開催することができました。多くの皆さんにご協力いただき、ありがとうございました。



図書館より新しい本のご紹介

一般書

青くて痛くて脆い

住野 よる 著 KADOKAWA

魔力の胎動

東野 圭吾 著 KADOKAWA

不倫のオーラ

林 真理子 著 文藝春秋

風は西から

村山 由佳 著 幻冬舎

ハイ・ジュード

小路 幸也 著 集英社

この嘘がばれないうちに

川口 俊和 著 サンマーク出版

オリジン 上・下巻

ダンブラウン 著 KADOKAWA

恨みっこなしの老後

橋田 壽賀子 著 新潮社

蒼い炎

羽生 結弦 著 扶桑社

有元葉子の台所術

有元 葉子 著 筑摩書房

児童書

おべんとうバス

真珠まりこ作 ひさかたチャイルド

きょう、おともだちができたの

得田 之久作 童心社

ぜったいいぬをかうからね

ローレンチャイルド 作フレールベル館

えがないえほん

B・J・ノヴァク 作早川書房

ようかいしりとり

おくはら ゆめ 作こぐま社

ミオととなりのマーメイド

ミランダジョーンズ作ポプラ社

となりの火星人

工藤 純子 著 講談社

ざんねんないきもの事典 正・続

今泉 忠明 監修 高橋書店

ラストサバイバル

大久保 開 作集英社

3つの東京オリンピックを大研究

(シリーズ3巻) 岩崎書店

皆さんのサポート役として

奥多摩町教育相談室

スクールソーシャルワーカー

八木橋 咲月

学校教育に関わる職業は様々ありますが、その中でもスクールソーシャルワーカーについて、あまり馴染みのない方もいらっしゃるのではないかと思います。

近年、いじめや不登校等の問題が増加傾向にあり、その内容も複雑になっており、学校だけでは対応が難しい場合もあります。そういった際に、お子さんを取り巻く環境を整え、お子さんやご家族が問題解決に向かう環境を整えるサポートが必要と言われています。その役割を担うのが、私たちスクールソーシャルワーカーです。生活環境や人間関係も含め、周囲の環境を整えるサポートをすることで、お子さんとご家族が問題解決に向かつていけるように支援していきたいと思います。

ご家庭でもお子さんのことで、何かと心配なことや不安に感じることもあるかと思えます。教育相談室では、お子さんやご家族への心配や不安について、ゆつくりお話を伺いすることもできます。ご希望があれば、ご家庭に訪問させていただきます。どうぞお気軽にご連絡ください。

◇お知らせ◇

教育相談室では、この4月より、丹三郎にお住まいで、古里地区主任児童委員をされております原島富子さんを相談員としてお迎えしています。

奥多摩町教育相談

【場所】

奥多摩町水川199番地口号
(奥多摩町福祉会館2階)

【開室日】

毎週月・火・木・金曜日

午前9時～午後4時

※水曜日・土曜日・日曜日・祝日・年末年始はお休みです。

※事前に来室の予約を電話にてお願いします。

【相談内容】

- ・ 学校に行けない、登校渋り、友達と上手く遊べない、困った癖がある、学校生活や日常生活でのお子さんへの心配事について
- ・ 言葉の理解や発達が遅い様に感じる、勉強に意欲が出ない、学力面での不安等、お子さんの発達、成長について
- ・ 町外の相談機関、医療機関の紹介
- ・ 町の福祉手当やサービスの紹介など

【電話】 (83) 12340

平成29年度奥多摩町学校給食センターの運営と決算報告

平成29年度は、年間給食回数、小学校189回・中学校194回を実施し、総食数は55,739食（小学校33,998食、中学校21,741食）を提供しました。前年と比較すると1,962食増加しました。

栄養面では、全体にバランスのとれた内容になるよう献立を工夫し、旬の素材を使用した、できるだけ手作りの給食を提供するように努力しております。また、調理後短時間で提供できるように努め、衛生面には特に注意を払っております。

給食費については、小学校は月額、低学年（1・2年生）3,800円、中学年（3・4年生）4,100円、高学年（5・6年生）4,400円、中学校は月額5,300円として運営しました。保護者の皆様からいただいた給食費は全て食材料費として使われ、1食当たりの食材料費は約270円となりました。また、収支差引残額については、食材料の価格変動等があることから、次年度に繰越しをさせていただいております。

食材料費以外の人件費、光熱水費等については、全て町で負担しており、1食当たり746円かかっています。

なお、町では、子ども・子育て支援推進事業の一環として、給食費の全額助成を行っており、保護者の皆さまには一旦納入をお願いいたしますが、後から助成が行われております。

平成29年度奥多摩町学校給食センター会計収支決算書

自平成29年4月 1日

至平成30年3月31日

(単位:円)

収入の部

科 目	予 算 額	収入済額	比較増△減	説 明
1 給食費	14,634,840	15,028,480	393,640	
1児童給食費	6,177,740	6,307,860	130,120	古里小 3,832,200 氷川小 2,475,660 過年度分 0
2生徒給食費	4,722,300	4,723,600	1,300	奥多摩中 4,723,600 過年度分 0
3職員給食費等	3,734,800	3,997,020	262,220	古里小 1,005,340 氷川小 1,030,300 奥多摩中 1,330,200 センター 593,600 試食等 37,580
2 繰越金	387,915	387,915	0	
1繰越金	387,915	387,915	0	前年度繰越金
3 雑収入	245	824	579	
1雑収入	245	824	579	預金利子・親子料理教室食材費
合 計	15,023,000	15,417,219	394,219	

支出の部

科 目	予 算 額	支出済額	比較増△減	説 明
1 主食費	1,879,000	2,112,043	233,043	
1パン類費	544,000	547,794	3,794	古里小学校33回、氷川小学校34回、中学校34回
2麺類費	218,000	193,530	△ 24,470	古里小学校16回、氷川小学校16回、中学校16回
3米穀費	1,117,000	1,370,719	253,719	古里小学校140回、氷川小学校139回、中学校144回
2 副食費	10,259,000	9,946,836	△ 312,164	
1副食費	10,259,000	9,946,836	△ 312,164	小学校189回、中学校194回
3 牛乳費	2,754,000	2,985,693	231,693	
1牛乳費	2,754,000	2,985,693	231,693	小学校189回、中学校194回
4 返還金	10,000	13,188	3,188	
1返還金	10,000	13,188	3,188	
5 手数料	0	0	0	
6 予備費	121,000	0	△ 121,000	
合 計	15,023,000	15,057,760	34,760	

収支差引残金 359,459 円

外国語教育の充実に向けて

平成29年3月に新しい学習指導要領が告示され、小学校は平成32年度、中学校は平成33年度の全面実施に向けて、今年度から移行期間に入っています。新しい学習指導要領では、小学校第3学年と第4学年での外国語活動、第5学年と第6学年においては教科型の外国語科が行われることになっています（移行期間中は外国語活動として実施）。奥多摩町教育委員会では、外国語に触れる機会を増やし、外国語でのコミュニケーションを図る基礎的な力の育成を目指して、小学校における外国語教育の充実に向けて取り組んでいきます。

外国語活動の増時

移行期間から、第3学年と第4学年で年35単位時間、第5学年と第6学年で年70単位を教育課程に位置付け、外国語活動の授業を実施していきます。

外国語指導助手(ALT)の常駐化

各小・中学校に1名ずつALTを配置、常駐し、外国語の授業だけでなく、学校行事や特別活動等でも外国語に触れる機会を提供し、外国語(英語)に親しむ環境を作ります。



小学校放課後英語教室の実施

小学校での放課後の時間に、英語教室を開催します。講師には、町の子ども英語教室の指導者である酒井理恵氏をお迎えします。英語を楽しみながら、英語に触れる時間をつくっていきます。

奥多摩町いじめ防止基本方針を改訂しました

いじめ防止等の取組を一層推進するため、奥多摩町いじめ防止基本方針を改訂しました。いじめの定義を明らかにし、いじめは絶対に許されない行為であり、児童・生徒はいじめを行ってはならないことを明記しています。また、いじめはどここの学校でも、どの児童・生徒にも起こりうるものであるという認識に立ち、学校、家庭、地域が連携して、いじめを生まない学校づくりなど、未然防止への取組を進めるとともに、いじめを察知した場合には、早期発見、早期の組織的対応を基本とした取組を講じ、機動性・即時性をもって解決に当たることを示しています。保護者、地域にも、他人を思いやる優しい心や社会生活のルールを守ることの大切さを教える、人とのつながりや生命、自然の大切さを考えさせる、児童・生徒の成長や生活に関心をもち、積極的に声をかけ、多くの大人に見守られていることを実感させる等、いじめの防止等に向けて、ご支援、ご協力をいただきたいと思います。

奥多摩町の全小・中学校がコミュニティ・スクールとなります

奥多摩町教育委員会では、4月から、古里小学校と氷川小学校を新たにコミュニティ・スクールに指定し、昨年度の奥多摩中学校を含め、町内の全ての小・中学校がコミュニティ・スクールとなります。3校共通の学校運営協議会を組織し、小学校間、小・中学校間のこれまで以上の連携を推進するとともに、保護者、地域の方々からのご支援、ご協力をいただき、より一層、教育活動の充実を図り、社会に開かれた学校を目指していきます。保護者並びに地域の方々、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を共有し、学校、保護者、地域が一体となって、子どもたちの健全な成長を支えていきたいと考えています。

学校運営協議会 委員

- 渡辺 英俊 氏 (学識経験者)
- 竹内 信吉 氏 (地域住民)
- 原島 富子 氏 (地域住民)
- 木村 光恵 氏 (地域住民)
- 菅原 和利 氏 (地域住民)
- 原島 二三和 氏 (地域住民・支援コーディネーター)
- 河村 貴子 氏 (地域住民・支援コーディネーター)
- 師岡 さと子 氏 (保育園関係者)
- 島崎 勘 氏 (保育園関係者)
- 石上 和伸 氏 (古里小学校長)
- 松下 静徳 氏 (氷川小学校長)
- 花輪 潤一 氏 (奥多摩中学校長)

郷土奥多摩(文化財)

奥多摩町の巨樹

「イヌグス」について

(その1)

文化財保護審議会委員 梶谷 義明

古里附のイヌグス(東京都指定天然記念物)、小丹波のイヌグス(奥多摩町指定天然記念物)、梅沢のイヌグス(奥多摩町指定天然記念物)と奥多摩町にはイヌグスの巨樹が3か所にあります。

最初にイヌグスという言葉聞いた人は、「イヌグスって何?」と思われた人がほとんどでしょう。私もそうでした。少し調べていくうちに、新たな発見もあり、興味のある情報が得られ、この紙面をお借りして皆



古里附のイヌグス



小丹波のイヌグス
古里駅の陸橋から

様にもご紹介することにしました。

イヌグスはタブノキが正式名称で、日本各地の暖かい場所に分布するクスノキ(楠)科の常緑高木です。地域によってイヌグス・タマガス・ヤマグスとも呼ばれ、通常、高さは15〜20メートル、太さも1〜2メートルになる高木ですが、天然記念物に指定された幹回りは5〜6メートルにも達する大木です。

どうしてタブノキがイヌグスと呼ばれるようになったのか。「イヌ」が付く名を持つ植物は、「似てはいるが性質は劣る」ことから名付けられた場合が多いそうです。クスノキよりも低位に見られがちであるが、そうではなく、一見クスノキに似ていることを示しているのではないかと思

われます。

タブノキは暖帯の海岸付近の照葉樹林の代表的な常緑広葉樹です。関東地方の内陸山間地にこのような大木が存在するのは珍しく、古里地区以外では、青梅市の日向和田駅の裏手の「横吹の大イヌグス」や青梅市と飯能市の境界近くに「滝の入タブノキ」があり、それぞれ市と県の天然記念物に指定されています。タブノキは霊が宿る木とされていて、古代では信仰の対象とされていたように、祖先はその樹霊を尊び大切にしてきたため、神社仏閣や屋敷林に大木が残っているとされます。

利用としては、枝葉には粘液が多く、乾かして粉にするとタブ粉が得られ、線香や蚊取り線香の粘結材として用いられる。また、材は硬く古くは船材や鉄道の枕木、また、家具や彫刻材などに使われたようです。タブノキの樹皮にはタンニンを多く含むため八丈島では黄八丈の染料として使用されているそうです。

・古里附のイヌグス

古里駅から青梅街道を氷川方面に向い、小丹波の住宅街を通り過ぎたところ、青梅線と青梅街道に挟まれた狭い場所に春日神社と古里附のイヌグスが窮屈そうに立っています。

私の会社の入り口にあるため毎日見えますが、案内板に書かれています通り、かつては樹高23mあったようですが、今は上部が枯死して15m

程になっています。平成元年頃から樹木医が保全対策をされているようですが、平成15年の夏ごろ急に樹勢が衰え、道路からの照り返しが強すぎるのではと、よしずで囲い、1日2回会社の散水車で路面散水も試みましたが効果なく、徐々に弱っているように見えます。今年6月頃から再度回復処置も試みされると聞いています。樹齢60年ともいわれるこの樹がその生命力で、かつての勢いを取り戻してくれるのを願っています。

(次号に続く)



梅沢のイヌグス